



佐野市立犬伏東小学校

校長室だより No. 1 2

鯨山

R5. 1. 13 令和5年1月号

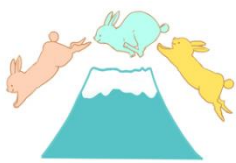
〒327-0817 佐野市伊勢山町 1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565

<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>

## 2023年も「ひがしっ子」 ひとにやさしく がんばる活動 しっかり学ぶ つよい体の ひがしっこ



2023（令和5）年、犬伏東小学校も無事に新年を迎えました。2022年末12月には新型コロナウイルス感染症による学年や学級の臨時休業もありましたが、今年が穏やかな年となるよう保護者の皆様やご家族、地域の皆様と共に子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな心の育成、学力向上及び体力向上に教職員一同努力してまいります。皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



中国伝来の十二支は、もともと植物が成長し循環する時期を表しているそうです。一番目の「子（ね）」は生命が種として芽生える時期で、丑（うし）、寅（とら）と植物が芽を出して成長し、四番目の「卯（う）」では植物が伸び出て地面を覆うようになった時期を表すそうです。それゆえ卯年は、芽を出した植物が目に見えて大きく成長する年だといわれています。また、うさぎは跳びはねることから、飛躍するという象徴にもなっています。このようなことから卯年の今年は、色々な場面での子どもたち自身の頑張りが、それ

ぞれの成長や飛躍を一層後押ししてくれるのではないかと考えております。

新型コロナウイルス感染症ですが、年末年始の市教育委員会からのメールにもありましたとおり、罹患者は多数報告されているようです。お子様自身に発熱や咳などの風邪症状がある場合は、すぐに医療機関での受診をお願いします。また、ご家族に同様の症状がある場合も、医師による診断が確定するまでは登校を控えるようお願いいたします。今後、感染拡大防止のため行事等の急な変更もあるかと思いますが、引き続き感染症対策を徹底しながら、子どもたちにとってそれぞれの学年のまとめの時期が充実したものとなるように支援をしていきたいと思っております。

### ◎冬休み明けに、こんな話をしました

12月26日（月）冬休み前の放送では「新年のちかい」を立てる大切さについて話をしましたが、1月10日（火）冬休み明けの放送では、その実行について一人一人が頑張りたいと伝えました。

また、これからの3か月間は学年のまとめと次の学年の準備のための大切な3か月であることも話しました。どの教室の子どもたちも姿勢良く、真剣な表情で参加できていました。その後の授業でも意欲的に取り組む子どもたちの姿に、2023年の明るい展望を感じました。「新年のちかい」は、各学級で掲示しています。ご家庭でもお子さんのちかいが実現できるようお声掛けやご支援いただきますようお願いいたします。



## ○おむすびの日、防災とボランティアの日

最近では古来からの年中行事とは別に、色々な記念日が作られています。その中の1つ「おむすびの日」は1月17日、おむすびの日を制定したのは「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」という団体で、事務局は兵庫県農政環境部に置かれています。この記念日が2000年に制定されるに至ったきっかけは、かつての大災害にありました…。



1995年、1月17日の早朝に阪神・淡路大震災は起きました。当時、戦後で起きた自然災害では最大規模であり、**民間のボランティアの活動が被災者の大きな支えとなりました。**その当時、すでに飽食の時代と言われるようになって久しく、日本人の米離れについて話題になる事もよくありました。ですが、災害によってライフラインが断たれた中で水と火があれば食べる事ができるお米の、主食としての重要性や乾燥状態で長持ちする保管性の高さ、おむすびという形の携帯性の高さや利便性などが再評価される事となります。

**ボランティアの方々からの善意への感謝とお米の価値を見直す事が記念日「おむすびの日」が生まれた理由です。**（以上 <https://kenokoto.jp/> ケノコトより抜粋）

また、阪神・淡路大震災では、政府や行政の対応の遅れが批判された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」と言われました。これをきっかけに、**ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、同年12月の閣議で「防災とボランティアの日」の制定が決定**され、翌1996年から実施されました。



本校5年生は、稲作ボランティアさんにご協力をいただき米作りを体験しております。先日の学びの発表会では、量は限られてしまいましたが育てたお米の販売を行うことができ、ご協力ありがとうございました。本校でも避難訓練を計画的に実施しております。「天災は忘れたころにやってくる」などとよく言います。1月17日をきっかけに主食としてのお米や防災についてご家族で話題にしてみてもいいでしょうか。

## ○業間活動で「なわとび」が始まりました

11日（水）より、全校一斉の「なわとび」を開始しました。初日の11日はお互いの縄がぶつからない位置を確認してから、なわとびを行いました。冬休み中に練習に取り組んでいた児童も多かったのか、時間の中で一度も失敗しない姿も多く見られました。初日は風もなく天候に恵まれ、運動することの楽しさを全員で共有できたようです。寒さの厳しくなる時期ですが、2月下旬まで業間活動「なわとび」で体力向上を進めていきたいと思えます。2月には「なわとび検定」を予定しています。各自の目標が達成できますよう、ご家庭でもお声掛けいただけるとありがたいです。また、活動後の汗の処理等もありますので、ハンカチ等の確認もよろしくお願いします。



## ○校木「うめ」の伐採が行われました（12月27日）

冬休みの初日に早朝より伐採が行われました。開校以来子どもたちを見守ってくれた校木への感謝を込め、木の四方でお清めを行ってから作業が開始されました。枝を支えていた添え木をはずすと、枝は簡単に地面に崩れ落ちてしまいました。他の枝もチェーンソーで輪切りにすると、中は大きく虫食いとなっています。伐採が進むとほとんどの枝や幹の中が虫食いとなっており、この伐採のタイミングが立っていることの限界であったと感じました。



1月18日(水)には、校木2世の植樹を予定しています。植樹式には6年生が参加し、新たなステージに挑戦する想いを共有してほしいと思っています。